

郵便将棋の葉

平成10年11月発行



一局の将棋を
一年で指す

日本郵便将棋連盟

目 次

会 員 メ モ	1頁
新人王戦開始のご案内	2頁
函面と棋譜帳	4頁
予想手順の進め方	5頁
速信を進めるために その1	6頁
郵便将棋を楽しく指すために その1	7頁
ちょっとした速信の工夫	7頁
郵便将棋を楽しく指すために その2	8頁
郵便将棋を楽しく指すために その3	9頁
地元集配局への対応	9頁
速信・トラブル防止の工夫（その後の投稿）	10頁

会 員 ヲ モ

- (1) 棋戦通信……季刊 2・5・8・11月10日の発行です。
内容は公式戦の公募と結果、巻頭棋譜（棋戦優勝者など）・詰将棋
将棋に題材を採ったパズル・年会費払込案内・地区実戦会予告と結果、
諸連絡や依頼事項などが掲載されます。
お忙しい方は1頁の「本号の内容」だけは目を通してください。
対局に熟中して、年会費の払込みや棋戦参加の申し込みを失念という
事態が防げます。
- (2) 年会費…… 毎年3月末が払込期限です。送金は2月号に同封される
郵便振替の払込用紙（赤色）利用が便利（送金手数料は連盟負担）
領収書は発行しませんので、郵便局の受取書を保管してください。
切手送付の場合は、高額切手は不可（80円未満90円未満）
なお対局期限が4月以降になる棋戦に参加されている方は次年度の
年会費支払いが必要です ☞ 規定集第6条参照
- (3) 転 居……編集担当（増井 進会員番号81）へお知らせください。
棋戦参加の方は担当幹事へも同様に。また一方で郵便局へ届けて置く
と、一年間は新住所へ回送してくれます。（用紙は局窓口）
棋通が回送されたら、転居届を出していないなどの考え方も必要です。
- (4) 依頼事項……数年毎に会員名簿の改冊を行ないます。名簿原稿の返送
が期限までに到着せず、催促のお便りを再度発送する必要が生じたり
して編集作業に支障をきたすことがあります。
これはほんの一例で、棋戦担当が指し手数の取り纏めをするなど
各種の依頼事項は「期限厳守」でご協力をお願いします。
- (5) 退 会……会長あての届けを会計担当経由提出してください。届けも
無し、会費の支払いも無しでは担当の煩わしきは想像以上です。
会計担当 福島 盛喜（会員番号22）

新人王戦開始のご案内

第×期新人王戦は別紙編成表のとおり ×名でスタートします。
×月×日開始とありますが、即日下配要領で第1信を出してください。

第1信の書式例（編成表▲印の方に対し）

第×期新人王戦 私の先発でよろしくお願ひします
第1局 ▲××歩（1）
第2局 あなたの先手でどうぞ
×月×日

一方、編成表△の方から第1信が届いたら

第×期新人王戦 こちらこそよろしく
第1局 ▲××歩（1）に △××歩（2）
第2局 ▲××歩（1）
×月×日～×月×日ー×月×日 注1

注1 ハガキのスタンプ日付～着信日ー返信日の順
（進行状況把握の為、なるべく記入しておく）

- ☆ クラス全員とハガキが一往復すると、対局も段々と熱を帯びてきます。
追い追いとハガキ余白に自己紹介などを書き添えて頂いて、局面は火花を散らす一方で、お互いの親睦を深めてゆく千棋の楽しみをどうぞ。
- ★ 尚一ヵ月以内に追参加者がある時は、ご本人からクラス全員に第1信を出して頂きます。あらかじめご了承ください。

千棋は通常の指し将棋といろんな点で違います
以下要点を述べますので、よくご理解ください

1. 棋譜整理の方法

棋譜帳（ペン書き）と図面（指し手進行の都度消しゴムと鉛筆で駒を動かし、最終局面にしておく）を使用する。

☞ 記載例は 4頁参照

2. かならず励行して頂きたいこと。

- (1) ハガキの保存…指し手再現の時に必要です。対局相手ごとに輪ゴムで止めるなどして終局まで保存してください。
- (2) 速 信…月4回往復が基準です。原則としてハガキ到着の夜に検討し、結論が出ない時は翌日通勤の電車内や昼の食堂で再考し、その日のうちに投函します。

慣れないうちは投函したつもりが、通勤カバンに残っていたなどの失敗例もありますのでご注意ください。

あまり返事がこない時は、再信してください。

予想手順を活用すると進行が早くなります。☞しおり 5頁参照
中断は規定集14頁11条を準用します。

- (3) クラス委員への報告…委員から指し手数・勝敗等の照会があったらすぐ実行してください。また病気・出張などで返事が困難または遅延のおそれがある時は理由を付して速やかな連絡をお願いします。

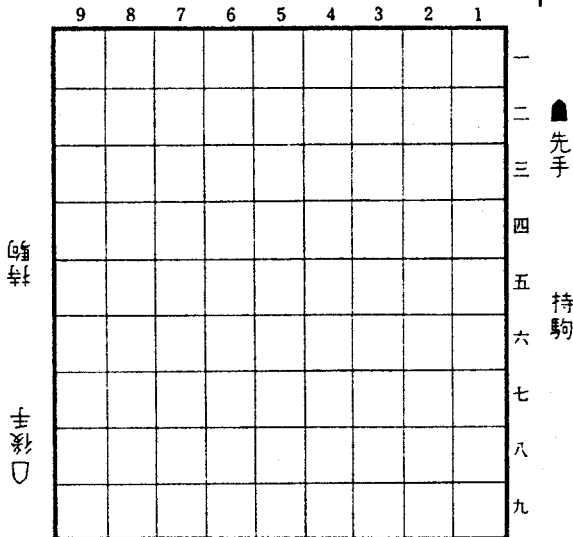
3. ミス防止について

- (1) 二歩禁手即負けは一般の指し将棋と同じ
- (2) 不能手は訂正するが、可能手は例え「大駒の只取られ」となっても訂正出来ない。
- (3) 先後の誤り(例2二と8八、4四と6六)も生じやすいミス
- (4) 打ち、上がる、下がる、右、左、直ぐ、引く、寄る、等の補助語を使って、お互いに間違いのないように。
☞ 7～9頁の実例参照
- (5) 書いたあと、もう一度見なおしてポストへ。
- (6) 時々並べ直して持ち駒と局面の確認をしてください。

【 図面と棋譜表 】

(第 図は△ まで)

1-A 対局番号



対局番号の例示

第1局は A

第2局は B



No. 1-A

対局者	級段	先 ▲	棋戦名	開始	年月日時分
	級段	後 △		掲載紙	終了
	級段	後 △	対局場所	昼休	時分～時分
	級段	後 △		夕休	時分～時分
手合割	平手	備考 △昼休前 分・△夕休前 分	手数	手	勝
持時間	各 時間		戦型		
消費時間	▲ 時間 分 △ 時間 分				
			記録係		

▲	消費時間	△	消費時間	▲	消費時間	△	消費時間	▲	消費時間	△	消費時間
指手	指手	指手	指手	指手	指手	指手	指手	指手	指手	指手	指手
7六歩	1/20	8四歩									
2六歩	2/27										

◎ 棋譜帳と図面に同一番号を付しておく、対局数が増えても探す手間が省略出来て便利です。

予想手順の進め方

千棋の進行を早める方法のひとつに予想手順の採用があります。
A図は後手3二金(6)までの局面、ここで先手が予想手順を
採用すると指し手の記入は下記の通りです。

△3二金(6)に▲2四歩(7) つぎ△同歩(8)なら▲同飛(9)
さらに △2三歩(10)なら▲2六飛(11)

◎ これに対し後手が予想手順通り指した時の返信は

▲2四歩(7)に△同歩(8) ▲同飛(9)に△2三歩(10)
▲2六飛(11)に6二銀*1(12)
*1 ほかの指し手の場合もあり得る

◎ これに対し後手が途中変化した時の返信は

▲2四歩(7)に△同歩(8) ▲同飛(9)に△1四歩*2(10)
*2 ほかの指し手の場合もあり得る

1回の通信で敵手が進行したことがご理解頂けたことと存じます。
皆さんも局面次第で随時活用して千棋の進行を早める工夫を実行
してください。

(A図は △3二金 まで)

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
	香	桂	銀	王	金	銀	桂	香		一
		銀					金	香		二
		歩					歩	歩		三
										四
		歩						歩		五
										六
		歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩		七
			角	金				飛		八
	香	桂	銀		王	金	銀	桂	香	九

速信をすすめるために その1

機関誌108号遅延特集
の要旨をまとめました

(1) 着信の翌日には遅くとも返事を投函

ハガキが到着してその晩に指し手を検討して、遅くとも翌日には投函…お勤めの方で翌日の昼食時間に再検討してとの工夫も届きました。

(2) 棋譜の記録は絶対必要条件

先年、某棋戦対局中、相手の記録不備が原因で、一手の進行に一ヵ月以上もかかり楽しみ変じてイラダチのみが残り、次期は参加を見送った。棋譜帳の記載は絶対の必要条件です。

(3) 週末にハガキの宛名書き

週末になると干棋の宛名書きをする習慣が勤めを辞めたいまも続いている。速信の棋友だと、集配状態が良いときは週末迄に更にもう一枚書き足す必要があり、このように順調だと勝敗を離れて楽しいが、二～三週間もハガキが残ってしまう酷い遅信に出会うと「これが新入会員相手だと、どう思われるだろうか？」と棋戦を担当しているだけに心を痛める。

(4) 時々図面の確認を、またハガキの保存は終局まで

対局者双方が充分注意しても時として勘違いが生じ局面が合致しない場合が起こる。手隙の時に棋譜を並べ直し、現在の局面を再確認しておくのも、広い意味で(2)のような例を未然に防止出来て有効ではなからうか。そのためにもハガキの保存は絶対です。

(5) 出張先から自宅に電話

出張先から自宅に電話して指し手を読んでもらい、返事を書いた事もありました。要は相手の立場にたって自分で出来る努力をすることでしょう。

(6) 期間内終了・対局期限は辯論と同じ

実戦に持時間があるように、干棋にも期間という持時間があると考えれば、二人の責任として速信に努力し、期間内終了を目指し、併せて親睦を図って頂きたい。

(7) 棋戦参加は充分管理出来る範囲に、立場の違いはお互いの努力で

参加棋戦は多過ぎないように各自で管理出来る範囲に絞ってください。

仕事を持ち帰宅後ハガキと対決される方、一方で毎日が日曜日の方、出張等で家を明ける多忙な方等等、それぞれの立場に個人差があると思いますが、これらは自己管理の分野です。

(8) 対局相手に迷惑をかけないように、そして楽しい干棋を

形勢が悪くなると返信が遅れ勝ちになる、負けが込んでくると、中断されるとの傾向も指摘されています。勝負をやる以上は勝つのが良いに決まっていますが、相手があること、勝敗にこだわらず干棋を楽しみ人生の友を得る、これも干棋の醍醐味のひとつでは。

郵便将棋を楽しく指すために

その 1

成立する誤記を指したり指されたり、
忘れないのは角で王手をしたら、相手は
勘違いされて他の手を指され、私の駒台
に相手の王が乗っかる羽目になり、盤面
は当方の王だけとなりました。

その後二十数年、対局に巡り合わせま
せんが、年賀状を交換している唯一人の
一般会員です。

以上は担当棋戦のトラブル発生でその
処理に腐心していた際に頂いた、某古参
会員の方の回顧談です。

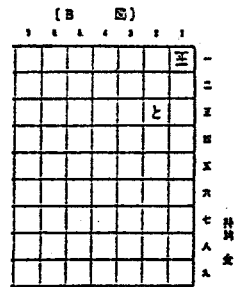
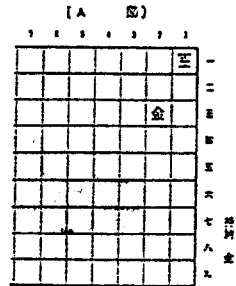
可能手は例え大駒の只取られでもその
まま指し継ぐ、ミス防止の為、打ち・直
下がる・上がる・右・左などの補助後を
付記する。

とは新人王戦開始の際に皆さんに周知
してあることなのですが、時としてトラ
ブルの種となり相談のお便りを頂きます。
蛇足ですが、再発防止の意味合いで、紛
れやすい事例を図面を交えて説明します。

「A図」ここで先手の手番なら頭金で
詰みですが、うっかり1二金と書き送る
と、同王で失敗、正解は1二金打ち

「B図」この局面では1二金でも1二
金打ちでも同じです。

要は移動出来る駒がある時は「打ち」
を書かないと、移動したとみなされると
いうこととなります。



ちょっとした速信の工夫

某氏からこんなお便りを頂きました。
「皆さんは郵便ポストの集配時間を良く
ご存じでしょうか」

私の住まいはT市とI市の境目、T市
のポストの集めは、5時前が最終、その
あと投函しても、ハガキはポストの中
で翌朝までグッスリお休み、I市のポスト
は最終の集めが6時過ぎ、一方が眠りの
間にラインに乗っかって動いています。
そこで時計の針を眺めて隣市まで自転車
を飛ばすことが再々という訳です。

また休日は星からの集めは無いのが
一般的のようです。念の為

郵便将棋を楽しく指すために

その 2

郵便屋さんのバイクが待遠しい、行間に
縦られた近況が楽しい、Aさんはこんな
趣味をお持ちなのか、私もやってみようか
な、一枚のハガキの積み重ねが棋力の向上
は言うに及ばず、相互の親睦を深める一方
で、日常の過ごし方を充実させる等の大き
な役割を果たしている面があるのも確かな
事実です。

また反面では誤記と遅信が当連盟の目的
のひとつ「相互の親睦…規則第二条」の足
を引っ張っていることも見過ごせない事実
です。

会員の皆さんには新人王戦開始の際に、
通常の指し将棋とは異なる郵便将棋の規則
について、一応の説明を差し上げてありま
すが、個々の事例となると、時にトラブル
の種となります。

その一で補助語「打」の記入洩れ事例を
紹介しましたが、今回は最近起こった事例
の説明と併せて注意喚起をいたします。

盤上は問題図、ここで先手は3七銀(注1)
と書き送り、以下 △1二香 ▲3六銀
△5一角 ▲4六歩と進んだ時点でトラブル
が生じました。

理由は3七銀(注1)です。問題図を見ると
3七に移動可能な銀は二つあるので、

先手は「3七銀上ルもしくは下ル」と
書くべきで、

一方後手は、この区別を確認して指し手
を進める必要があった。

つまり双方にミスが生じた訳です。

事例の場合、先手は3七銀下ルとして駒
を動かし、一方で後手は3七銀上ルとして
駒を進めていた。

今後同じような事例が発生し話し合いで
解決がつかず、担当幹事が裁定する場合は
問題図から改めて指し直し、先手が改めて
「3七銀上ルもしくは下ル」と書き送る
こととします。

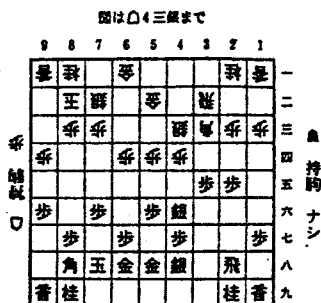
補助語を洩らした場合は、相手に選択す
る権利があるとの一部の意見がありますが、
これは到底認めることは出来ません。

要はミスの無いように注意して頂くのは
勿論ですが、相手にミスが出た場合でも、
厳しく咎めることなく「こう記入があった
が、こうではないか」「この手は不能手だ
から指し直しを」とソフトタッチで対応を
お願いしたいものです。

一方でミスを指摘された方は謝意を表明
する。

これで当連盟の目的…親睦・棋力の向上
が図られるという訳です。

149号(平成9年11月)に掲載



郵便将棋を楽しく指すために

その 3

最近ある棋戦で起きたトラブルについてご説明し、皆様のご認識を得たいと存じます。

図面をご覧ください。

後手はここで△2三步打ちと記載してきました。後手は図面で2四に歩があるので明らかな「二歩禁手」です。

先手は「二歩」である旨を指摘したところ通常の場合後手は投了の旨の通知をすべきですが、問題はその後発生しました。

後手は「△3五歩打ちの誤記である。本棋戦規則にどこに二歩負けと書いてあるのか。また本棋戦は誤記を認めないのか」と担当幹事に質問しました。

本件はその後、会長裁定に持ち込まれ、「二歩禁手で後手の負け」となりました。

この事例は後手の持ち駒に歩が無ければ「不能手」歩があれば「二歩禁手で後手の負け」となります。

要するに「可能手」であれば、例えば大駒の只取られとなっても、指し直しは出来ません。しかし「不能手」であれば双方で確認し再記入することが出来ます。

「二歩禁手負け」は新人王戦開始案内冊このしおり3頁に明記されており、また指し将棋のルールから見ても疑義を挟む余地はありません。

誤記などで不本意な負け方をするのは残念なことには違いありませんし、一方で誤記を受けた相手にとっても大変に気を使うものですが、お互いに相手を尊重し、決められた規則を守ってこそ郵便将棋を楽しむことが出来るのではないのでしょうか。

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
	皇	将		等				と	皇	一
		王	將				将			二
		歩	馬	歩					将	三
歩			歩	馬		歩	等	歩	歩	四
					歩					五
歩		歩	歩	歩	歩			銀	歩	六
		歩	歩		銀					七
		角	玉		金		飛			八
		香	桂		金			桂	香	九

△2一歩成(57)まで

地元集配局への対応

—こんな事例もあります—

もう10数年前、酷い遅配で困った事がありました。状況がいくらか好転した頃、集配局からアンケート用紙が届けられました。道を隔てた向い側は午前の配達なのに当方はいつも午後5時頃、思い切ってこれでは不公平、隔日または隔週扱いにと意見をぶつけました。効果はてき面で、当日の集配時間内に返事をポストに投函が出来るようになりました。

郵便番号7桁移行の後遺症か、どうも地方で配達遅れとの声があるようです。地元集配局への交渉も遅配打開の近道だと思えます。

その後皆さんから頂いた
速信・トラブル防止等の工夫

速信について…ハガキに全く手を着けられない時がたまにあり、その時は溜ったハガキをなるべく一日で処理するようにします。また頭を働かす時間を有効にとる。例えば電車の中・歩いている時・眠っている時の頭にインプットした図面を思考するようにします。眠る前に図面を2～3回頭にインプットしておくことと眠りの浅い時に潜在的に考えていて、朝起きると答が出やすいようです。

誤記入について…余裕をもって、きちんと図面・棋譜帳を記入するに尽きる。

T・W生

速信について…なんといっても先ず速信をやろうとの決意、具体策として大きなスケッチブックに大きな将棋盤を書き、別のノートに読み筋を書いておく。

予想手順…序盤は定跡手順なら思い切つて長い手順を、中盤はこう指さなきゃ勝っちゃうぞの予想手、終盤は寄せの予想手を。

誤記入・トラブルについて…さすがに誤記は何回もやりましたが、大きなトラブルは無い。自分に厳しく相手に優しくの気持があれば、問題にならないと思う。

その他…郵便将棋を楽しく指すために、余白欄に何かひとことを書く、これが大事でしょう。私の希望としては終局後の感想戦もやりたい。

S・O生

7桁郵便番号を正確に

今年度から実施の7桁郵便番号、面倒のようでもやらざるを得ません。番号が違つたと1～2日程度遅れるようです。

省力化とミス防止には宛名カードが便利、コストは私の場合1枚2・5円です。